

学生受け入れに関する取り組み（個人的な防疫指導）

健康チェックシート等の記録

- 健康チェックシート
 - 教職員・学生ともに、健康チェックシートの記入を確実にし、健康状態の追跡が可能な態勢を整える。
 - 健康チェックシートは、毎週金曜日に教職員は上司から、学生は担任から検印を受け、1か月間個人で保管する。
- 通学生用検温カード
 - バス利用者：バス乗車時、体調に異常がなければ「通学生用検温カード」に養護教員の検印を受ける。
 - 私有車利用者：学生昇降口又はCTCの通過時、学生部又は国際航空ビジネス科教員から検温を受け、異常がなければ検印を受ける。
- 学生は、バス乗車時又は寮出発時における検温で異常があった場合、養護教員の指導を受けるものとする。

毎週金曜日に担任の検印を受け、各人ごと1か月保管する。

用紙は土曜日から記載を開始する。

体温は朝夕計測し記載する。

記載の症状に該当する場合チェックを入れる。

記載の症状のほか、気になることがあれば記載する。

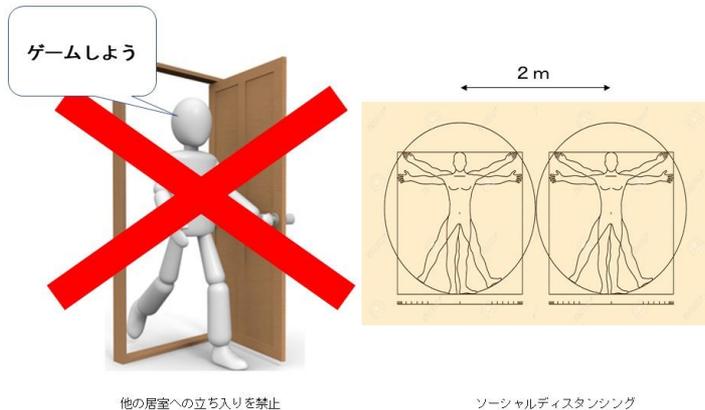


- 1 グレクサにより検温結果を担任に報告
- 2 報告時期
 - (1) 夜 24時まで
 - (2) 朝 8時半まで
- 3 担任は、検温報告状況を確認し、異常の有無を学科長に報告、学科長は学長に報告

健康チェックシート等の記録

寮内での接触回避（居室の出入り等）

- 寮内での他の学生居室への立ち入りは原則禁止する。談話室への立ち入りは必要最小限にする。
- トイレ、浴室等においても、ソーシャルディスタンス（2m）を遵守し、密集・密着を回避する。



寮内の他の居室への出入りは原則禁止

手洗い・うがい、マスクの着用、飛沫飛散防止

- 手洗い・うがい

外出後は、人込みへの接近の有無にかかわらず、なるべく早く手洗い及びうがいを実施する。
- マスクの着用

咳・発熱の有無にかかわらず、建物に入る前にマスクを着用する。また、屋外においても、極力マスクを着用する。

着用するマスクは、鼻から顎を覆う物とし、ガスマスク・空気マスク等奇抜なものを使用しない。
- 飛沫飛散防止

敬礼・挨拶は、距離に応じた声量で行う。また、食堂においては挨拶の際発声しない。



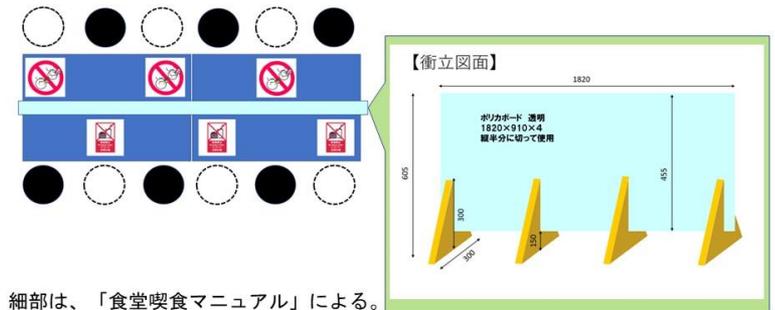
手洗い・うがい・マスクの着用等

ソーシャルディスタンスの確保（食堂）

物理的距離（その1）

座席の指定、遮蔽

- ① 食堂内では、足跡表示に従って行動（手洗い→配食→喫食→下膳→退出）
- ② 配食カウンター・食器返却口にシールドスクリーンを設置
- ③ 食堂テーブルに衝立を設置し向かい合わせによる感染を予防する。
- ④ 座席は千鳥配置とし、距離を保つ。



細部は、「食堂喫食マニュアル」による。

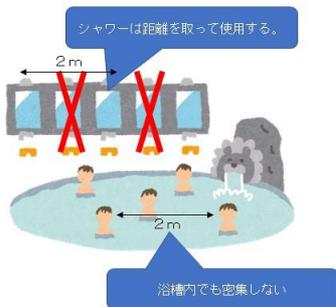
食事も距離をあけて

寮内での接触回避（浴室の使用）

- 1 入浴は、16時から23時半までの割り当てられた時間に行う。
- 2 男子寮
入浴時間の割り当ては寮において作成し、不公平の無いようローテーションする。
- 3 女子寮
入浴時間の割り当ては行わないが、混雑しないよう足元表示に従って整列して順番を待つ。

入浴時間	入浴人員	グループ				
		月	火	水	木	金
16:00~16:30	21名	①	②	③	④	⑤
16:30~17:00	21名	②	③	④	①	⑤
17:00~17:30	21名	③	④	①	②	⑤
17:30~18:00	21名	④	①	②	③	⑤
18:00~食事						
18:30~19:00	21名	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
19:00~19:30	21名	⑥	⑦	⑧	⑤	⑨
19:30~20:00	21名	⑦	⑧	⑤	⑥	⑨
20:00~20:30	21名	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨
20:30~21:00	21名	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
21:00~21:30	21名	⑥	⑦	⑧	⑤	⑨
21:30~22:00	21名	⑦	⑧	⑤	⑥	⑨
22:00~22:30	21名	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨
22:30~23:00	21名	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
23:00~23:30	22名	⑥	⑦	⑧	⑤	⑨

入浴時間割当表（一例）



浴室における各人の距離

10



（男子）入浴は少人数で

（女子）入浴待ちは距離をあけて

保護者様へ

トイレの使用

- 1 トイレに入ったら、手指をアルコール消毒する。
- 2 男性用小便器は1個づつとはして使用させる。
- 3 和式便器の個室は使用しない。
- 4 個室の便座に座る前には、「界面活性剤（かんたんマイベツ）」をスプレーし、トイレットペーパーで拭いてから使用する。
- 5 トイレ使用後は、ふたを閉めてから水を流す。
- 6 水を流した後、「界面活性剤（かんたんマイベツ）」を再び便座にスプレーして消毒する。



12

専門学校は、学生個人に対する以上の指導により新型コロナウイルスへの接触機会を極力少なくします。

親御様からも、生活リズムを整える等、抵抗力を高めるご指導をよろしくお願いいたします。

便座の消毒、ソーシャルディスタンス

学生受け入れに関する取り組み（組織的な防疫環境の構築）

健康管理指導（登校時の指導）

1 学生の登校

通学区区分	男女区分	時期	点検者	衛生指導	使用機材
通学生	男女共通	バス乗車時	養護教員①	養護教員①	サーマルカメラ（H/L型※）
寮生	男子学生	寮出発時	専属寮監	養護教員②	サーマルカメラ（H/L型※） （三脚固定）
	女子学生				サーマルカメラ（固定型）

※（H/L型）：ハンドヘルド型

2 登校時の動線

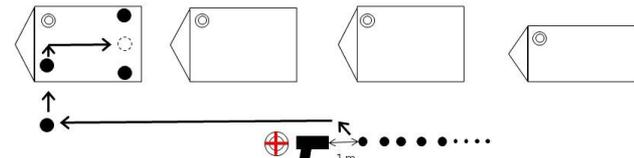
- (1) 通学バス乗車時の動線
- (2) リンドバーグホール出発時の動線
- (3) アメリカホール出発時の動線
- (4) 学生昇降口での動線
- (5) C.T.C.2入口での動線

3 通学生選別者等の検温

- (1) 単純選別者
 - ア 単純選別者は担任に連絡を取り、学校到着時刻を報告する。
 - イ 担任は、寮門から学校に進入するよう指示する。
 - ウ 担任又はその依頼を受けた者は、指定の時刻に寮門において検温後、学校に進入させる。
- (2) 体調不良等による通院（選別）者
 - ア 担任は、連絡を受けたのち、養護教員と連携を取り、状況を報告する。
 - イ 寮門における検温及び体調確認を養護教員とするほか、単純選別者と同じ

登校時の指導

2 登校時の動線（通学バス乗車時）



発熱学生

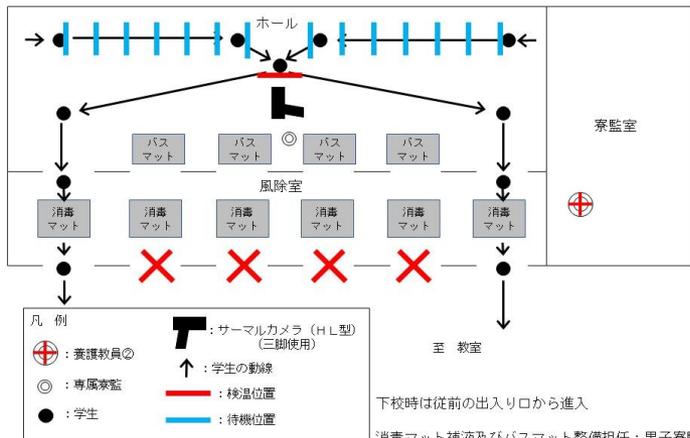
発熱学生に対する受診指導

- 1 千歳市内の発熱外来の紹介
- 2 近隣市町村等の保健所の連絡先
- 3 受診時の確認、学校への報告事項



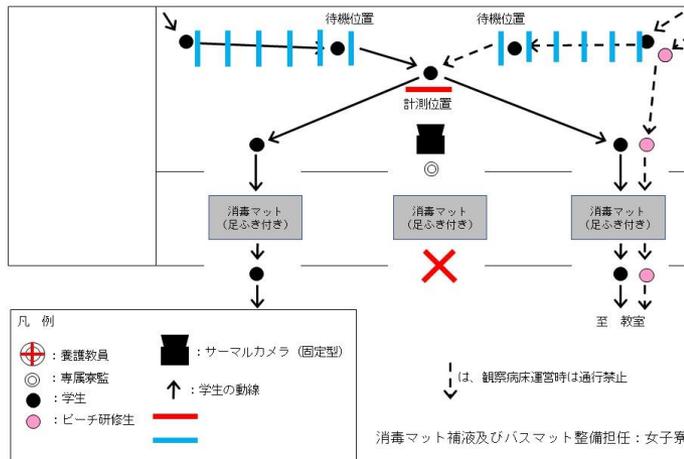
通学バス乗車前の検温

2 登校時の動線（リンドバーグホール出発時）



男子寮出発前の検温

2 登校時の動線（アメリカホール出発時）

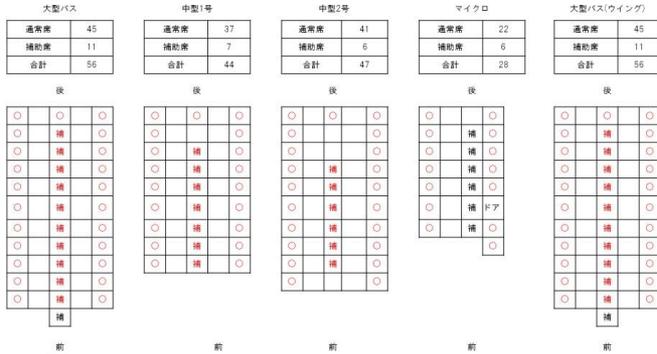


女子寮出発前の検温（予行写真）

学生受け入れに関する取り組み（組織的な防疫環境の構築）

ソーシャルディスタンスの確保（バス乗車・物理的隔離）

- 1 手指の消毒
- 2 前のバスから、奥に詰めて乗車（下図赤色の席に着席）
- 3 マスクを外さない、話をしない、走行中は窓を開けて換気する。



凡例：赤字 指定座席
黒字 使用禁止

22

通学バスの対策（距離分散）

ソーシャルディスタンスの確保（バス乗車・時間的隔離）

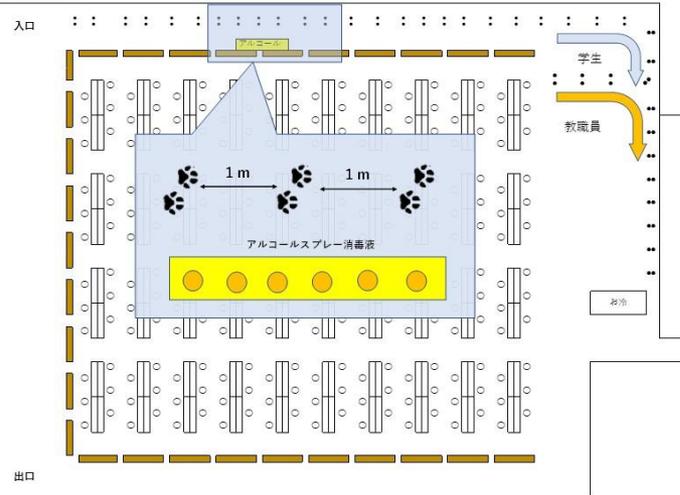
出発時間	乗車対象者	乗車人員	車種			
		所要人数 (可能人数)				
07:30	1年生	90名 (100名)	大型	中型1	中型2	マイクロ
08:15	2・3年生	104名 (119名)	大型	中型1	中型2	大型 (外注)

23

通学バスの対策（時間分散）

物理的隔離(その2)

動線、距離の指定



25

食堂喫食人員の分散（距離分散）

ソーシャルディスタンスの確保（食堂）

時間的隔離

時期	平日		休日	
	学年	時間	学年	時間
朝食	3年生	07:30~07:55	3年生	平日と同じ
	2年生	07:40~08:05	2年生	
	1年生	07:50~08:15	1年生	
昼食	K科2年・I科3年	11:50~12:15	3年生	11:50~12:15
	K科1年	12:00~12:25		
	A科2年	12:15~12:40	2年生	12:00~12:25
	A科1年	12:25~12:50		
	M科3年	12:50~13:15		
	夕食	M科2年	13:05~13:30	1年生
M科1年		13:20~13:45		
3年生		18:00~18:25	3年生	平日と同じ
2年生	18:10~18:35	2年生		
1年生	18:20~18:45	1年生		

26

食堂喫食人員の分散（時間分散）

学生受け入れに関する取り組み（組織的な防疫環境の構築）

ソーシャルディスタンスの確保（教室）

物理的隔離



教室の対策（距離分散）

28

ソーシャルディスタンスの確保（教室）

時間的隔離

航空整備科 分散登校 クラス分け

	教室	学生総数	通学生	寮生			1教室収容人数	
				総数	AGp	BGp	AGp授業	BGp授業
M1-1	2E	34	7	27	14	13	21	20
M1-2	システム実習	34	7	27	14	13	21	20
M1-3	計器通信	34	9	25	13	12	22	21

- 1 1年生
 - AGpとBGpは日替わりで分散登校の予定
- 2 2・3年生
 - (1) 実習
 - ア 2年生及び3年生は実習場での授業がメインなため、分散せず授業を実施
 - イ この際、三密を避けるため実習場に椅子を出してディスタンスを確保
 - (2) 一般科目
 - ア 2、3年生の一般科目はそのまま実習場を使用
 - イ 実習場が確保できない場合は格納庫の入口側と新へり側にエリアを確保

29

教室の対策（時間分散の一例）

消毒（机の消毒）

- 1 消毒液
 - 「界面活性剤（かんたんマイベツ）」（清掃用スプレーボトル）
- 2 使用上の注意
 - (1) 机表面にまんべんなくスプレーする。
 - (2) 清掃にあたっては、薄手袋を着用する。（担任に配当）
 - (3) 界面活性剤は揮発性がないので、きれいな雑巾で拭きとる。
 - (4) 手指を拭くタオルでは拭き取らない。



消毒の徹底（モノの消毒）

37

消毒（物品の消毒）

- 1 消毒液
 - 「界面活性剤（かんたんマイベツ）」（清掃用スプレーボトル）
- 2 使用箇所
 - ドアノブ、手すり、蛇口、自動販売機のボタン等
- 3 使用上の注意
 - (1) 容器はスプレーボトルを使用する。
 - (2) 清掃にあたっては、薄手袋を着用する。（担任に配当）
 - (3) 揮発性はないので、消毒後は、きれいな雑巾で拭く。



消毒の徹底（消毒方法の指導）

35

学生受け入れに関する取り組み（組織的な防疫環境の構築）

消毒（手指の消毒）

- 1 消毒液
消毒用アルコール(アルコールスプレー用ボトル)
- 2 使用箇所
手指
- 3 使用上の注意
(1) 傷口、眼球には使用しない。
(2) 手洗いの後、十分水分をふき取ってからスプレーして揉みこむ。



消毒（靴底の消毒）

- 1 消毒液
0.05%次亜塩素酸ナトリウム溶液（20ℓタンク「次亜塩素酸ナトリウム」と表記）
- 2 資材の配置



マット通過後にバスマットを設置して、水分を除去（転倒防止）

0.05%次亜塩素酸ナトリウム溶液を染み込ませて使用する。

36

36

教室の対策（手指の消毒）



発熱者発生時の対応訓練

教室の対策（靴底の消毒）



清掃（消毒）方法の訓練



登校時の検温訓練（リンドバーグホール）



登校時の検温訓練（アメリカホール）

保護者様へ

私共日本航空専門学校は、以上のように学生個人の衛生指導を行うとともに、学校として組織的な新型コロナウイルス感染症対策をとり、学生の健康を第一に考えて修学環境を整え、万全の態勢で皆様のご子息・ご息女をお迎えいたします。

どうか安心してお任せいただけますよう、お願い申し上げます。